民報ゆうばり

拠点複合施設 3月1日オープン！

「議会と市民の意見交換会」市内4か所で開催

バスが不便・博物館模擬抗は市民の声を聴いて 公衆トイレの整備を・議員の報酬見直しをetc…

10月8日、8人の議員が2組に分かれて市内4か所で、議会と市民の意見交換会」が開催されました。

市民の皆さんからの意見の概要をお伝えします。

◆公共交通について

≪バスが不便≫

・買い物・通院が困難

・送迎を頼まれる

・JRとの接続が悪い

・乗り換えが増えた

・土日祝日の運休が多く、乗り換えの待ち時間も長い

・バス停まで遠いので非常に不便

・住宅街の道路や枝道に小型のコミュニティバスなどを運航してほしい

・運転手不足の解消を。養成から考えるべき

・民間企業等の買い物バスを

・ご近所の支援体制構築のため、特区申請を

◆石炭博物館模擬坑道等について

・市民に対する情報発信が少なく、現状がわからない

・水抜き後の課題

・展示再開に向け市民も巻き込んだ検討を

・市民の財産何としても再開を

・「元炭鉱マンの話」の継承を

・6尺層や進発の像を近くで見られるようフェンスの配慮と、草刈りや枝払いなどボランティアにさせてもらいたい

～市の回答を

・博物館の周辺活用を

◆拠点複合施設について

・子どもたちが安心して1日遊べる場所に

・事業は検討委員会任せにせず、議員も加わるしくみを

・公民館活動が何もやられていないのは問題。文化振興は重要。市民の学ぶ権利の保証を

・様々な検討委員会等が立ち上がるが、非公表の名簿は、市のホームページで公表すべき

◆議会について

・議員の報酬が低く、なり手が不足しているので、改定が必要

・定員割れの恐れがあるので、議員の魅力向上を

・議会のネット配信を

・意見交換会の内容や回答をホームページに掲載を

・議会基本条例見直しは実施されているか

・議会だよりで視察報告を（文字を少なく）

◆その他

・診療所で透析治療を

・交流人口増を目指す市として、道の駅や公衆トイレの整備を

・市営住宅入居に丁寧な対応を

・雨水の排水状況、周囲の雪捨て

・道路のごみ、縁石の雑草

・道営住宅や紅葉山高台の側溝に蓋を

・次期ごみ処理場の確保を

拠点複合施設「りすた」建設急ピッチ！

夕張市は10月25日、新複合施設の名称を「りすた」に決定したことを公表しました。

これは夕張の「り」とまちの駅（ステーション station）のローマ字「sta」をつなげた名前にしたといいます。

現在施設の建設は急ピッチで進められて、12月には完成を目指しています。

「りすた」は、多目的ホールや児童・生徒の居場所・バス待合所として機能するよう企画されています。また、南支所や市教育委員会などが移設され、来年３月１日にオープンします。

★日本共産党　夕張市委員会へのご連絡･ご相談はお気軽にどうぞ～　Tel/Fax ： 0123-52-3097　e-mail：jcp.yubari@gmail.com

第62回夕張市音楽発表会開催

10月12日ゆうばり文化スポーツセンターで、第62回音楽発表会が開催されました。

開催挨拶は、小林広明実行委員長と主催者の今勉教育長が行い、全体合唱♪「夕張の歌」が作曲者ジャクソン（JaXon）さんの伴奏で歌われました。

引き続きプログラムは、①新夕張・清陵・沼ノ沢・こじか保育園・ユーパロ幼稚園合同発表うた②夕張レコード愛好会ビデオ鑑賞　③ゆうばり小学校1・2・3年生合唱　④同小学校4・5・6年生合唱　⑤夕張中学校2年生合唱　⑥同校1年生　⑦同校3年生合唱　⑧同全校合唱　⑨リンデンコール、コール・リラ、コール・ポピー合同合唱　（ここで休憩）⑩夕張高校吹奏楽部吹奏楽　⑪夕張市民吹奏楽団吹奏楽と進み、全体合唱♪「さようなら」で終幕しました。

くずさんの夕張歴史散歩（123）

明治維新　37　もう一つの戦争　①

「歴史散歩」117に義和団のたたかいについて触れました。

義和団干渉戦争

この義和団のたたかいを「北清事変」か「義和団の乱」とか称して、民衆闘争の意義を低くめようとします。しかし、この戦いは、日清・日露と並んで義和団干渉戦争と呼ぶべき重大な意味をもっています。

朝鮮の東学農民運動と同様に各地で立ち上がった義和団は、八か国連合と北京攻防戦をたたかいます。清朝西太后も認めた（開戦上諭）うえで清国政府は、宣戦布告をします。

十万人を下らないと言われた義和団と清国軍は、約数万人の近代兵器を持つ連合軍に敗れます。特に二万二千人の日本軍は、列強にその実力を見せつけるために先頭切って戦い、最も多くの犠牲者を出しています。

連合軍の暴行

中国での利権の確保のため、北京の外交官の保護を名目に出兵した列強の兵士は、略奪・婦女暴行の限りを尽くします。

侵略軍は、義和団を逮捕する名目で**「三三五五、群れをなして身に洋式銃を、手に刀を持って、各街区から各家へ入った。寝室・密室を問わず、いたるところで箱をひっくり返し、捜さないところはなかった。およそ銀銭、時計、金目の貴金属は強奪されて空になった。」＊1**

それに対し日本軍は、秩序を維持していたとされていますが、例にもれず略奪行為に手を染めています。**山本海軍大臣宛て出羽艦隊司令官の報告書や「馬蹄銀事件」**などが紹介されています。＊2

＊1　中国高等学校歴史教科書　454頁

＊2「経済」誌・278号、36頁　原田敬一

紙智子「国会かけある記」

参議院議員　紙　智子

一日も早く安心できる日常を

台風19号、21号は広い範囲に大雨を降らせ、河川の氾濫や土砂崩れによって、深刻な被害を発生させています。懸命の救援活動が続いています。参議院では、災害対応が急がれている中で、野党が予算委員会延期を求めましたが、与党は予算委員会を延期せず、冒頭に1時間だけ災害問題で集中的に質疑をすると言って災害対策よりも委員会を動かす事を優先しました。

短い臨時国会で、日米貿易協定の審議入りを急ぎたいようです。ひどい政権です。

しかし、国会が災害対応しなくても、日本共産党は独自に動いています。高橋千鶴子衆議院議員、いわぶち友参議院議員をはじめ衆参議員が被災地に入りました。私は、はじめに宮城県・大崎市に。吉田川の冠水地域で、被害状況と要望を聞き取り、県議選候補の応援もしました。

大崎では堤防の決壊で、膨大な量の稲わらがまき散らかされ、そのかたづけや、家畜のえさである稲わらの確保が急がれます。福島県の阿武隈川も氾濫し、被害が深刻な本宮市、二本松市の中山間地域などにも行きました。個人の住宅も、アパートも、店舗も一階部分全部が浸水。かたづけをしながらも、このさきどうしたらいいのか、表情にも疲れがにじんでいます。

一日も早く、安心して暮らせるように。今週から始まる委員会審議に向け、論戦の準備も行っています。「100年に一度の災害」が、毎年発生し、心も折れてしまうという被災者に、一日も早く安心できる日常をと思います。